

地域母子保健

ナンバリング:N4-S2-L10

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 西里 真澄 講師		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

地域母子保健に関する基本理念を踏まえ、地域社会の中で助産師が行う活動の実際について、その展開方法を学ぶ。また、助産師が行う地域母子保健活動のうち、健康教育に焦点をあて、その具体的な方法について学修する。さらにそれらを通して、地域母子保健における助産師の役割を考察する。具体的には、地域母子保健、関連する母子保健行政(法律、統計、関連機関等)および助産師が行う地域母子保健の実際(健康教育・家庭訪問等)について学修する。

・教育成果(アウトカム)

地域母子保健を根拠となる法令や関連機関との連携の視点で理解し、その中での助産師の役割を考えることができるようになる。また、具体的な地域母子保健活動の内容を知ること、留意点や重要点を認識し、展開方法を考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. ケアの対象となる人々を理解するうえで必要な概念、考え方を説明することができる。
2. 我が国の母子保健制度や母子保健施策について理解し、母子保健の現状に対する課題や助産師の役割を説明することができる。
3. 地域における助産師の役割や機能を知り、実施時の留意点や重要点を述べることができる。
4. 母子保健活動における、子育て世代への包括的支援と保健・医療・福祉関係者との連携・協働について述べることができる。
5. 母子の訪問計画を立案し、演習形式で実施することを通じ、実施時の留意点や重要点を説明することができる。

・授業日程

【講義】

会場：マルチ3-A実習室／マルチ3-B実習室／マルチ4A講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
10/19 月 1限	<p>【授業内容】地域母子保健の概要 関連する母子保健対策(講義)</p> <p>・地域母子保健の基本と母子保健行政の体系を学ぶことで、連携機関やその中での助産師の役割について理解することができる。</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、4、5</p> <p>【事前学修:60分】教科書(助産学講座9)P2～113を読み込みの母子保健における健康課題と保健活動について要点をまとめてくる。</p> <p>【事後学修:90分】地域母子保健行政の体系(行政・制度・施策)について要点をまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師

10/19 月 2限	<p>【授業内容】助産師による地域母子保健活動(講義・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産師が行う地域母子保健の実際について理解することができる。 ・地域母子保健の実際における連携について理解することができる。 <p>【関連するSBO】 1、2、3、4、5</p> <p>【事前学修:60分】教科書(助産学講座9)P134～152、P181～203を読み、要点をまとめる。</p> <p>【事後学修:60分】助産師が行う地域母子保健について留意点や重要事項をまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/23 金 1限	<p>【授業内容】母子訪問の基礎と展開方法 (講義・グループワーク)</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、4</p> <p>【事前学修:60分】地域・在宅看護学概論(2年前期)、地域・在宅看護演習(3年前期)の家庭訪問の特徴と実際について復習してくる。</p> <p>【事後学修:120分】グループワークの内容をまとめる(書式、提出期限は授業内でアナウンスする)。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/23 金 2限	<p>【授業内容】助産師による地域母子保健活動の実際① (講義・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのちの教育について、助産師の役割を理解することができる。 ・ディスカッションを通じ、効果的な実践について考えることができる。 <p>【関連するSBO】 1、2、3、4</p> <p>【事前学修:120分】WebClassで配信する「国際セクシュアリティ教育ガイダンス(改訂版)」「プレコンセプションケア」の資料を読み要点をまとめる。</p> <p>【事後学修:90分】助産師が行うプレコンセプションケア、いのちの教育の留意点や重要事項をまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/28 水 2限	<p>【授業内容】助産師による地域母子保健活動の実際② (講義/指導補助者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における産前・産後ケアの実際について学ぶことにより、実践における留意事項や連携における重要点を理解することができる。 <p>【関連するSBO】 1、2、3、4</p> <p>【事前学修:120分】「産前・産後サポート事業ガイドライン産後ケア事業ガイドライン」を読み、重要項目を確認する。</p> <p>【事後学修:60分】産前・産後サポート事業の留意点や重要事項をまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/29 木 2限	<p>【授業内容】助産師による地域母子保健活動の実際③ (講義/指導補助者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるウイメンズヘルスケアや母子保健活動の留意事項や重要点を理解することができる。 <p>【関連するSBO】 1、2、3、4、6</p> <p>【事前学修:60分】地域・在宅看護学概論(2年前期)、地域・在宅看護演習(3年前期)の家庭訪問の特徴と実際について復習してくる。</p> <p>【事後学修:90分】助産師が行うウイメンズヘルスケアについて留意点や重要事項をまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/30 金 1限	<p>【授業内容】家庭訪問について (演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児家庭訪問計画を用いた演習を通じ、実施時の留意点や重要点を理解することができる。 <p>【関連するSBO】</p> <p>【事前学修:60分】作成した新生児家庭訪問計画を用いて家庭訪問のイメージトレーニングをし、復習してくる。</p> <p>【事後学修:90分】演習において課題となった知識面の補完、技術の復習を行い地域母子保健実習に備える。</p>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師
10/30 金 2限	<p>【授業内容】家庭訪問について (演習・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児家庭訪問計画を用いた演習を通じ、実施時の留意点や重要点を理解することができる。 <p>【関連するSBO】</p> <p>【事前学修:60分】助産診断技術(新生児)の新生児・乳児の助産ケアについて復習してくる。</p> <p>【事後学修:540分】演習を通じて修正・追記を要した箇所について検討し、地域母子保健実習に用いる新生児訪問計画を立案する。</p>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 第6版	我部山キヨ子 編	医学書院	2023
教	助産学講座5 助産診断・技術学 I 第7版	堀内成子 編 他	医学書院	2026
参	母子保健マニュアル 改訂8版	五十嵐隆 編 他	南山堂	2023
参	国際セクシュアリティ教育ガイダンス 【改訂版】	UNESCO	明石書店	2020
参	産前・産後サポート事業ガイドライン 産後ケア事業ガイドライン(PDF版) https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/d4a9b67b-acbd-4e2a-a27a-7e8f2d6106dd/c9cfc841/20241030_policies_boshihoken_tsuuchi_2024_80.pdf	こども家庭庁	こども家庭庁	2024

・成績評価方法

<p>【総括的評価】</p> <p>・ディスカッション・グループワークへの取り組み状況40%、課題60%にて評価する。なお、グループワークへの取り組み状況は、ワークでの主体的・積極的・態度、事前準備として課した内容の遂行状況を含み、総合的に評価する。</p> <p>課題は「家庭訪問計画」の立案とし、内容の適正性および実現可能性を評価の視点とする。評価基準は授業の際に示す。</p> <p>【形成的評価】</p> <p>・適宜、事後学修ノート等の提出を求め、学修状況の確認を行う。</p> <p>・授業毎に質疑応答等で理解度を確認する。なお、質問内容は成績に反映しない。</p>								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
2～5、7、8	1～5				40			40
5、7、8	4、5			60				60
合計		0	0	60	40	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他

<p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】</p> <p>質疑応答や事後学修ノートから多数の学生が理解していない内容について、次の授業やWebClassでコメントを伝える等、学生にフィードバックし、内容の理解と知識の定着を図る。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】</p> <p>助産師(別表2): 地域母子保健</p> <p>【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】</p> <p>当該科目に関連する実務経験の有無 有</p> <p>地域母子保健における助産師の実務経験を有する教員や大学病院ならびに開発途上国での看護実務経験を有する教員が、専門領域に関する教育を事例を交えて行う。</p> <p>地域において産前・産後ケア事業を展開している助産師から、医療機関や行政との連携などの実際を学ぶ。</p>
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義・演習用スライド投影
講義	書画カメラ(P-100)	1	講義・演習用資料投影